

各関係機関の長
各病虫害防除員 殿

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

平成31年度病虫害発生予察注意報第1号について

平成31年度病虫害発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

平成31年度病虫害発生予察注意報第1号

スクミリンゴガイの発生が多くなっています。
ほ場を観察し、適期防除に努めましょう。

- 1 病虫害名 スクミリンゴガイ
- 2 作物名 早期水稲（飼料用稲を含む）
- 3 発生地域 県下全域
- 4 発生量 多

5 注意報の根拠

- (1) 4月中旬に巡回調査を行った県内33ほ場の見とり調査では、スクミリンゴガイの発生面積率は42.4%（前年32.2%、平年25.5%）と平年に比べやや多、発生程度（ m^2 当貝数）は1.7頭（前年1.4頭、平年0.4頭）と平年比多の発生であった。
- (2) 本年の発生面積率は過去10年と比較して2番目に高く、発生程度は最も高かった。
- (3) 平成30年12月から平成31年2月の平均気温は10.2℃と過去10年（平均8.5℃）と比較して最も高く、越冬中のスクミリンゴガイが低温により死亡しにくい条件であった。

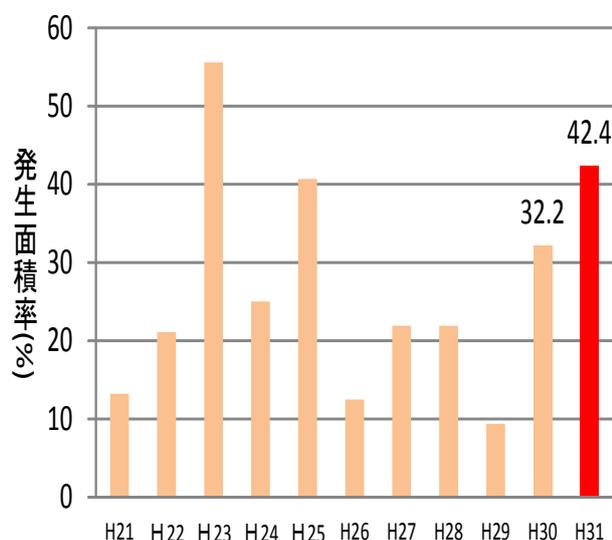


図1 スクミリンゴガイの年次別発生面積率

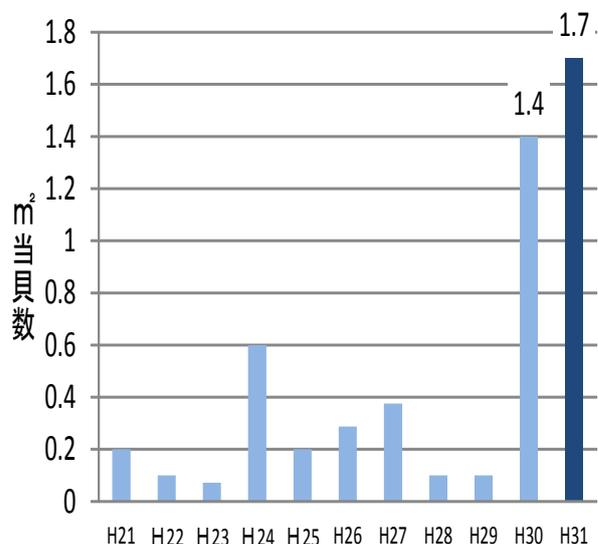


図2 スクミリンゴガイの年次別 m^2 当貝数

4 防除上の注意

- (1) スクミリンゴガイによる水稻の被害は深水状態であるほど食害が激しいので、活着後はできるだけ浅水管理する。
 - (2) 水田や水路の貝は捕殺し、卵は捕殺または水中に落とす。貝に寄生虫が感染している可能性があるため、ゴム又はビニール手袋を使用する。
 - (3) 水路からの侵入を防止するため、水口にネットを設置する。
 - (4) 貝の生息が多い場合は、薬剤の水面施用を実施する。施用にあたっては、灌排水に十分注意して、水深が3cm位になるようにし、止水状態とする。
- ・その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

《連絡先》

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター 黒木

Tel:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127

ホームページ: <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki>

E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp